

3月11日を次の世代に伝えるために



プロスケーター
あべ なおひろ
阿部直央さん

東日本大震災から9年が経過し、10年目を迎えました。本市出身のプロスケーター阿部直央さんは、スケートボードを通して震災を風化させないための活動を行っています。阿部さんにお話を伺いました。

「震災発生時は仙台で練習中でした。ビルが昆布のように揺れていました。塩竈の実家と家族が心配でしたが、交通機関も止まり、何とかメールで安否確認をしたことを思い出します」

震災を風化させないための活動を始めたいためのきっかけ

「震災前までは、あのような災害が起こることは考えもしませんでした。私たちは一度経験しているのに、地震による災害がどれほど危険なのかわかりません。しかし、世代を跨ぐごとにその認知度も薄れてしまいきます。子どもたちや若い人たちに震災のことを考え、思い出してもらえようという意味のあるイベントをしようと考え、平成24年から毎年3月11日近づく『Don't Forget Party』を

うイベントを行っています。今年も3月8日に塩竈で開催予定でしたが残念ながら新型コロナウイルスの関係で中止となりました。しかし、これからも来年の3月11日近くに東北で行いたいのです。このイベントを通してネガティブを感じることなく楽しみながら、震災のことを再認知してもらいたいです」



▲阿部直央さん



▲昨年の「Don't Forget Party」
「色々な人たちと繋がることができるのも、スケボーの魅力です」と話してくれました

しおがまの昔・懐かし

思い出写真館 ⑫

今回は、昭和63年に撮影された駅ビル「エスポート(S-PORT)」の写真を紹介します。

エスポートは、現在のJR仙石線本塩釜駅に隣接していた駅ビルで、東日本大震災で被災した後、解体されました。

エスポート内には、お土産屋さんのほかに、レコード店や本屋などがあり、観光客だけではなく、市民にも親しまれていました。当時、学生だった人たちは、ドムドムハンバーガーに寄り道したなどの思い出が多く聞かれました。



昭和40年代から平成10年頃までの塩竈の写真を募集しています。詳しくは、市ホームページをご覧ください。政策課 市政情報係 (☎355-5728)まで問い合わせください。

彩香きもの学院 6月開講準備中 【全11回】

日本の文化「きものと着付け」について学んでみませんか？

受講料 500 円のみ

会場：多賀城市民サポートセンター 多賀城市中央 2-25-3

時間：①10:00-12:00 ②13:00-15:00 ③18:30-20:30 のいずれか

お申込受付

0120-529-460

彩香きもの学院

検索

